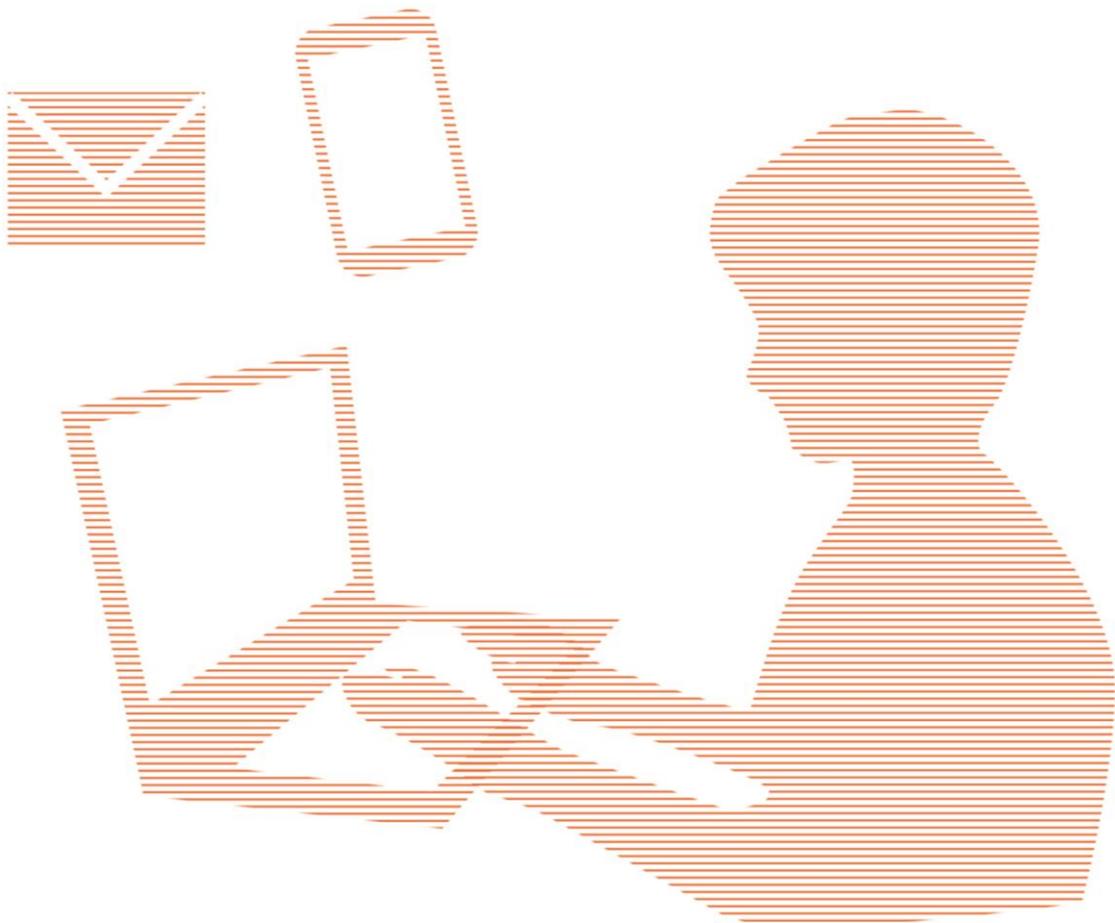


いたばしNo.1 実現プラン 2025

重点戦略Ⅱ デジタルトランスフォーメーション戦略



よりよい行政サービスの提供を～いたばしDX推進事業～

事業概要



「誰一人取り残さない」デジタル化の実現に向けて

区はこれまで、区民サービスの向上や業務効率化のために、ICTを活用し、積極的なデジタル化を進めてきました。令和6年度は、さらなるサービス向上に向け、キャッシュレス決済やオンライン申請、デジタル地域通貨連携事業を拡大します。また、敬老入浴事業のデジタル化などを実施するとともに、デジタルデバイド解消のため、シニアのスマートフォン個別相談会を開催し、誰もがデジタルの利便性を享受できる環境をめざしていきます。

事業の内容



(1)キャッシュレス決済の拡大

各種証明書などの手数料の支払におけるキャッシュレス決済対応窓口を拡大します。令和4年11月より対応している本庁舎1階戸籍住民課窓口に加え、課税課、赤塚支所、一部区民事務所窓口において、クレジットカード、電子マネー、コード決済が可能になります。

(2)オンライン申請の拡大

利便性の高い電子申請システムに、キャッシュレス決済機能を追加し、住民票等各種証明書の交付申請を始めとした行政手続について、オンライン化を拡大させます。利用者は、時間や場所を選ばず、オンライン上で証明書交付申請から手数料等支払までを完結させることができるほか、申請内容確認・点検などの内部事務負担も軽減されます。

【主な対象(予定)】

- | | |
|------------|-------------|
| ・住民票の写し | ・住民票記載事項証明書 |
| ・不在住証明書 | ・戸籍の附票の写し |
| ・戸籍及び除籍謄本等 | ・不在籍証明書 |
| ・身分証明書 | ・独身証明書 |
| ・住居表示証明書 | |

事業の内容

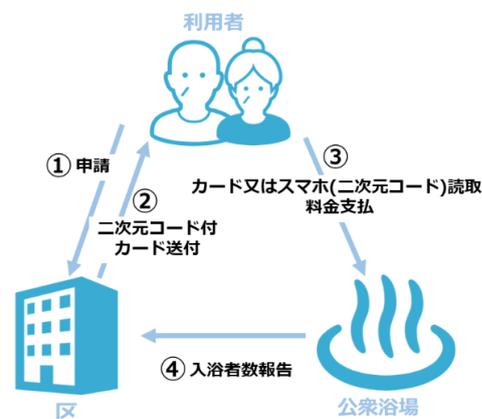
(3) デジタル地域通貨「いたばし Pay」と 行政ポイント付与事業の連携拡大

板橋区商店街振興組合連合会が令和4年度に導入したデジタル地域通貨「いたばし Pay」は、ユーザー数 10 万 9 千人、加盟店数 1,300 店舗、流通総額 61 億円に達しました（令和6年1月時点）。「いたばし Pay」支払によるポイント還元キャンペーンのほか、健康活動にポイントを付与する「いたばし Pay 健幸ポイント事業」や、省エネ行動にポイントを付与する「いたばし環境アクションポイント事業」など様々な事業と連携した行政ポイント付与を行っています。令和6年度はこれらの取組の強化・付与ポイントの拡大に加え、イベント参加・謝礼などにもポイントを活用することで、継続的な利用促進、持続的な発展を図り、地域経済活性化とキャッシュレス決済利用促進をめざします。



(4) 敬老入浴事業のデジタル化

70 歳以上の方が 1 回 100 円(年度内 25 回)で公衆浴場を利用できる「敬老入浴券」を二次元コード付のカードに変更します。利用者は、カードもしくはカードの二次元コードを読み込んだスマートフォンを公衆浴場の端末にかざし、入浴料(100 円)を支払うことで公衆浴場の利用が可能になります。これまで、敬老入浴券を利用するためには、毎年度申請書を提出する必要がありましたが、二次元コードを介し、年度・利用回数などを web 管理することで、次年度以降の申請が不要になるほか、浴場経営者の入浴券集計作業の負担軽減、入浴券印刷費等の削減を図ります。



(5) シニアのスマートフォン個別相談会

区内 5 カ所のふれあい館において、マンツーマン形式のスマートフォン操作に関する相談会を実施します。

【週 3 回、1 日 4 時間、1 人 30 分程度】

【年間延べ 5,600 人想定】

実施の背景・目的



窓口におけるコミュニケーション支援機器（令和6年度設置予定）

DX 推進で区民の利便性と職員の生産性を向上

少子高齢化による人材不足、デジタル技術の発展に伴う区民ニーズや課題の多様化等を解決するため、行政におけるDX 推進が急務となっています。区では「いたばしNo.1 実現プラン 2025」の重点戦略の1つに「DX 戦略」を掲げ、取組を進めてきました。今後もさらにその取組を展開・強化し、多様なサービスを提供することで、区民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術を活用した業務改善により、職員が新たな政策の企画立案や、区民とのコミュニケーションに専念できるよう努め、より一層のDX 推進を図っていきます。

今後のスケジュール

- | | |
|----------------------|---|
| (1) キャッシュレス決済の拡大 | 令和6年10月 課税課、赤塚支所、下赤塚区民事務所 |
| (2) オンライン申請の拡大 | 令和6年7月～ |
| (3) 「いたばし Pay」の連携拡大 | 順次実施 |
| (4) 敬老入浴事業のデジタル化 | 令和6年7月 新規 Web 管理システム構築開始
令和7年4月 敬老入浴システム稼働開始 |
| (5) シニアのスマートフォン個別相談会 | 令和6年4月～ |

【主管課・問い合わせ先】

(1) キャッシュレス決済の拡大	政策経営部 IT 推進課
(2) オンライン申請の拡大	課長 加藤 豊 Tel3579-2040
(3) デジタル地域通貨「いたばし Pay」 ポイント付与事業の連携拡大	(いたばし Pay 全般について) 産業経済部 産業振興課 課長 家田 彩子 Tel3579-2170
	(いたばし Pay 健康ポイント事業について) 健康生きがい部 健康推進課 課長 折原 孝 Tel3579-2310
	(いたばし環境アクションポイント事業について) 資源環境部 環境政策課 課長 河野 雅彦 Tel3579-2590
(4) 敬老入浴事業のデジタル化	健康生きがい部 長寿社会推進課
(5) シニアのスマートフォン個別相談会	課長 杉山 達史 Tel3579-2380

DX 推進事業抜粋

事業	内容	予算額(千円)	担当課
RPA活用の拡大	新たに10シナリオ作成。 300時間削減目標。	7,148	IT推進課
AI-OCR活用の拡大	700時間削減目標。	4,539	IT推進課
オフィス改革の推進	本庁舎南館等における全庁LANの無線化。戸籍住民課にフリーアドレス・AI検索サービスを導入。	56,801	IT推進課 戸籍住民課
オンライン申請の拡大	オンライン手続を拡大し、キャッシュレス決済機能等を追加。	1,004	IT推進課
電子図書館の推進	電子図書館サービス及び音楽配信型サービスの運用	17,014	中央図書館
キャッシュレス決済の拡大	キャッシュレス決済対応窓口の拡大。	2,890	IT推進課 課税課 戸籍住民課 赤塚支所
教員用PCの集約	教員用PCと学習用PCの2台を使用している状況を1台化することで、働きやすい環境を整備。	52,226	教育支援センター
生成AIの導入・活用	区職員が業務で活用する文章生成AIを導入。	8,003	IT推進課
敬老入浴事業のデジタル化	敬老入浴券をシール方式から二次元コードを使ったカード方式に変更。	15,290	長寿社会推進課
先端デジタル技術を用いたまちづくり事業	高齢者対応型スマート東京推進プロジェクトの実施(P29参照)。	81,816	都市計画課
3D延焼シミュレーションの活用	3D都市モデルを利用した延焼シミュレーションを作成し、都市復興訓練で活用。	13,288	都市計画課
シニアのスマートフォン個別相談会	スマートフォン操作方法について個別相談を実施。	27,388	長寿社会推進課
コミュニケーション支援機器の導入	窓口コミュニケーション支援機器(タブレット及び透明ディスプレイ)を設置。	4,224	障がい政策課

デジタル活用でスマートシティ推進～高齢者対応型スマート東京推進プロジェクト～

事業概要



高島平地域

地域発展のための DX プロジェクト

区は、高島平地域の賑わい創出と魅力形成、災害時の強靱性向上をめざし、デジタル技術を活用したプロジェクトに取り組んできました。令和6年度は、区立施設のデジタル体験環境整備、高島平エリアの仮想空間水害避難体験などを実施し、昨年度に引き続き、デジタル技術を活用した取組を区内に展開していきます。

事業の内容



郷土資料館

AR (拡張現実)

現実世界の映像に画像や文字などのデジタルコンテンツを重ね合わせて表示する技術。



水害再現イメージ

(1) 区立施設デジタル体験環境整備

熱帯環境植物館や郷土資料館等、高島平地域をはじめとする区立施設に多様な人が楽しむことのできるデジタルコンテンツを配置することで既存施設の魅力を向上させ、賑わいを創出します。

【熱帯環境植物館プロジェクトマップング】

熱帯環境植物館内でプロジェクトマップングを実施し、現実世界とバーチャル映像をシンクロさせることで、熱帯環境植物館の新たな価値を創造し、気軽にデジタル体験ができる環境を整備します。

【郷土資料館 AR 体験】

スマートフォンで特定の場所を映すと、再現された史跡などの CG コンテンツが現実風景に重ねて映し出されるほか、解説が音声やテロップ等で表示され、楽しみながら歴史や文化を学ぶことができるアプリを提供します。

(2) 高島平エリア仮想空間水害避難体験

豪雨の際の区内を仮想空間上でリアルに再現し、緊迫感のあふれる避難体験をすることで、防災を学ぶことができるアプリを提供します。簡易的操作のアプリとすることで、小さなお子様からご高齢の方まで幅広い世代の方々にご利用いただけます。

予算

81,816 千円

主管課・問い合わせ先

都市整備部 都市計画課

課長 千葉 亨二 Tel3579-2551

担当者 藤江 孝行 Tel3579-2566

実施の背景・目的

デジタル技術を活用した持続可能なまちづくり

高島平地域は、生産年齢人口減少や高齢化の進行に加え、荒川が近く浸水の危険性が高いなど様々な問題を抱えており、区は、「にぎわい」「ウェルフェア」「防災」の3つのテーマを軸に、スマートシティの推進に取り組んでいます。問題解決のためには、地域の定住人口の確保とともに、地域を訪れる交流人口を増やすこと、水害に対する備えを強化することが重要です。今後も、若者世代が移り住みたくなる魅力の創造と高齢者を含む幅広い世代が安心して住み続けられるまちの実現をめざしたまちづくりを推進・展開していきます。

高島平地域

高齢化率 **31.6%**

(板橋区平均24.4%)



荒川氾濫時

浸水深 **5 m以上**

継続時間 **2週間以上**



今後のスケジュール

(1) 区立施設デジタル体験環境整備

令和6年10月頃 開始

(2) 高島平エリア仮想空間水害避難体験

令和6年10月頃 リリース

